

読書週間

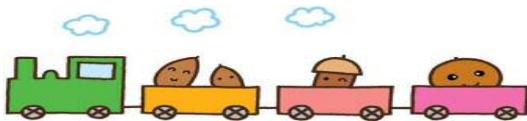
子ども達は絵本が大好きです。絵本を広げ、主人公になりきり、絵本の世界で、想像の翼を広げているのでしょう。ご家庭でも、秋の夜長に読み聞かせをしてあげてはいかがでしょうか。グッと親子の関係が深まりますよ。

2013・第67回『読書週間』10月27日～11月9日

<今年の標語> 「本と旅する 本を旅する」

本を読む楽しさ、よろこびが伝わってきます。標語入賞者の「平佐大輔」さんは、「旅とは非日常の体験。読書は日常の中で、非日常を体験。ここではないどこかの景色を眺めつつページをめくると、双方が微妙に入り交じり、なぜかいつもより登場人物や取り巻く世界観に強く思い入れてしまうことがあります。そんな感覚って素敵ですよね。」と標語にこめた思いを語っています。

～No.550 読書推進運動より抜粋～



<時のひと> 直木賞作家・山崎豊子さん

大阪・船場の老舗昆布商の家に生まれ、1944年、毎日新聞大阪本社に入社。学芸部記者として在籍中の57年、生家をモデルにした「暖簾」でデビュー。58年、2作目の「花のれん」で直木賞を受賞し、退社して作家活動に入った。2013年9月29日死去。88歳。

国立大医学部の教授ポストをめぐる権力闘争を告発した「白い巨塔」(65～69年)以来、「華麗なる一族」(73年)、「不毛地帯」(76～78年)ジャンボ機墜落事故を招いた航空会社の腐敗体質をえぐった「沈まぬ太陽」(99年)など、綿密な取材に基づく社会派の視点で、不条理な組織体質や権力の矛盾に切り込んだ。作品は相次いでテレビドラマ化されて高視聴率を上げ、映画でも話題を呼んだ。

～読売新聞より抜粋～

その他の作品・・・運命の人/仮装集団/しぶちん/『大地の子』と私/二つの祖国/ぼんち/山崎豊子自作を語る (等)

※ 館内に展示してあります。どうぞ御利用下さい。



「敬老の日によせて」笑いと回想!

敬老の方々を図書館に招き、図書館職員による簡単な手遊びや喜界島昔ばなしの読み聞かせ等を楽しみました。参加者は「こどもになった様だけ楽しかった」と話してくれました。5歳若返り?



『奄美群島日本復帰60周年記念』

復帰関係資料巡回展』

主催：鹿児島県立奄美図書館

展示会場：喜界町図書館1階フロア



期日：10/19(土)～10/27(日)

展示パネルの紹介

- ① 奄美群島における終戦から本土復帰までの年表
- ② 鹿児島・宮崎・関西・関東における復帰運動
- ③ 宣言・条約・決議文等の文章
- ④ 終戦から本土復帰までの歴代内閣、アメリカ政府首脳陣の一覧
- ⑤ 終戦から本土復帰までのアメリカ政府の動き
- ⑥ 復帰後の奄美群島12市町村のあゆみ

○ お話し会：毎週土曜日

(午後2時から40分程度)

☆ミニ映画の内容は都合により変更になることがあります。

《11月のミニ映画》

- 2日 源吉じいさんと子ぎつね
- 9日 つるのおんがえし
- 16日 北かぜとおひさま
- 23日・30日 だるま子ちゃんにとらのこちゃん

図書館カレンダー(11月)

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

*■ は、休館日です

- ・9月の貸し出し冊数 4,367冊
- ・H25年度累計 26,358冊
- ・9月の利用者数(入館者数) 1,781名
- ・H25年度累計 12,619名

《喜界島の歴史・伝承・伝説を探る》

喜界島の謎・幻の時代（古代より近世の世界）

島には皆さんもご存じの通り古代の貝塚や遺跡がある。出土した人骨・石器・土器片・装飾具などから見ると、**原人**（人類進化の上で、猿人に次ぎ、旧人・新人の前に位置づけられ160万年前頃に出現。脳の大きさは現生人類の3分の2くらいで、直立歩行に習熟、簡単な石器を用いた。）ともいえる人々は、いつごろ、どこから渡ってきたか不明である。しかし、渡来は南方説と北方説があり、**一般の定説では縄文時代**『縄文土器（縄の文様の土器）を基とする時代で、縄文土器の変化によって草創・早・前・中・後・晩の6期に分け、紀元前1万年前後に始まり、前4世紀頃まで継続して、弥生（やよい）時代と交代する。主に堅穴（たてあな）住居から成る集落を構成し、採集・漁労・狩猟の採取経済の段階にあり、農耕をしていたかどうかについては議論がある。遺跡・遺物は千島から沖縄まで分布している。（広辞苑より）』の**中期から後期**にかけた5千年より6千年前後で南方からと推定されているが、隣島の奄美大島笠利町土盛の喜子川遺跡から石器時代の生活跡が発見され、6千3百年前の爪形紋土器も出土していることからすると、もっと早い時期に原人ともいえる人々が渡ってきた可能性がある。

また、約2万年前の4回目の氷河期に地球は変動し、中国大陸と東シナ海に面した島々が地続きか浅瀬であった時期、背丈の低い幻の人々が旧石器時代、東南アジアか中国の桂林方面から渡ってきたものと考えられる。

また、沖永良部島知名町中甫洞穴から爪形紋土器が出土し、1年以上の縄文時代草創期へ逆のぼり更に南の沖縄の那覇市山下町から子どものお股骨と脛骨（けいこつ）が発見されている。これは、3万2千年前のホモ・サピエンス（現生人類）であるという。文責（登山 典壽）（11月号に続く）

引用文献資料： 南島郷土誌 倭の古代からワチャージマ・ワンナムラまで 井上 忍



▲こどもの本▼

- ☆ まちのおばけずかん 斉藤 洋著
- ☆ ルナーおつきさんのおそうじやさん エリ=カザ作
- ☆ だちょうのたまごにいちやんあきやまただし絵
- ☆ まちのじどうしゃレース たしろちさと絵
- ☆ どんぐりカプセル 市川宣子 著
- ☆ 水の生きもの 武田正倫 著
- ☆ 君たちはどう生きるのか 吉野源三郎著



▲おとなの本▼

- ☆ お伊勢ものがたり—親子三代道中記—梶ようこ著
- ☆ とっぴんぱらりの風太郎 万城目 学著
- ☆ おさんぽ美術館 杉浦 さやか著
- ☆ 仕事は、最高に楽しい。 中谷 彰宏著
- ☆ スナックちどり よしもとばなな 著
- ☆ 楡盗の夜（高瀬川女船頭歌）澤田 ふじ子著
- ☆ 燃える鬨魂 稻盛 和夫著



《よねちゃんの独り言》 いま最も支持を集めている作家といえば、百田 尚樹があげられるだろう。

「海賊と呼ばれた男」が2013年本屋大賞を受賞。今年の4月には「モンスター」が映画化。そして「永遠の0」も映画化され、年末に公開を控えている。一作ごとに違うジャンルで楽しませてくれるサービス精神。最後までドキドキが持続する構成。そして読者をひきつけてやまない、難局に怯まずなにもにも屈しない主人公たちの清廉な姿。エンターテイメントとしての小説にとことんこだわり、魅力的な主人公を描き続ける百田尚樹とはどんな作家なのだろうか。これからもどんな作品をうみだしてくれるのか目が離せない。《蛇足だが、彼が「探偵ナイトスクープ」の構成作家だったことは、ご存じだろうか？》